



為櫻祭開祭式挨拶要旨

令和元年6月7日(金)

挨拶に先立ちまして、5月28日に起きた川崎市の殺傷事件で亡くなられたお二人の冥福を祈り全員で黙祷をしたいと思います。(黙祷)

また、被害にあわれた皆様に心からお見舞いの気持ちを表したいと思います。このような事件は、決してあってはならないし、繰り返されないことを願います。

今年度の第50回為櫻祭のテーマは「令和 ～最初の挑戦～」です。

新元号発表時の首相談話によれば、「令和」には「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められて」おり、「厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人一人の日本人が明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いを込めた」そうです。

冒頭にもふれた事件の話に戻りますが、今、世の中に起きている事件のなかには他人を敬っていない(リスペクトしていない)ことから起こっているものが多いと感じます。事件を起こした人は、おそらく自分自身をもリスペクトできていないのかなと思います。自分を大切にすることと自分以外の人を大切にすることは矛盾しないと思います。

翻って本校の校訓の一つに「長上を敬し、下輩を愛し、和樂を貴ぶべし」があります。本校にも、互いを尊重し合う精神を大切にしている校訓があります。「令和」のもつ精神や本校の校訓に謳われた内容を全ての全ての人々が持ち平和な社会が保たれることを祈りたいと思います。

令和最初の挑戦として、生徒の皆さんが自分自身と相手へのリスペクトを持った活動が展開されることを期待して挨拶とします。

